



All Rikkyo Tennis

セントポールテニスクラブ会報

発行所

セントポールテニスクラブ

発行人 白 寄 誠 爾
木 田 耕 平
細 田 有 里

女子8年ぶりの2部昇格、男子3部2位無念の残留



「女子2部昇格」

平成23年度の関東大学テニスリーグで女子は、8年ぶりに2部昇格致しました。初戦の東洋学園大学戦を3-4で落とし、明治、上武大をそれぞれ大接戦の上4-3で勝利し、上智を5-2東農大を6-1で下した結果、明治、東洋学園大と4勝1敗で並びポイント差で立教が優勝、明治が2位、東洋学園大が3位という結果になりました。2部6位の東海大との入替戦となり、平成20年、21年と東海大には入替戦で苦杯をなめているだけに部員一同一丸となって戦い見事5-2で雪辱し2部昇格を勝ち取った。

「男子も初戦の東海大戦こそ1-8と完敗したが」

千葉商大を8-1、上智大を7-2、関東学院大を7-2、そして最終戦の東農大を9-0で下し3部2位となり、2部5位の駒澤大との入替戦にのぞみましたが残念ながら2-7で敗れ、平成18年同様2部駒澤大の壁を破れず、平成2年以來の2部昇格は成りませんでした。来年こそ、2部昇格を達成し、女子も1部昇格し、ダブル祝勝会を実現したい。



「新任の」挨拶」

副部長 石川 淳

この度、副部長に就任した石川淳と申します。日向野先生の研究休暇中の代行を務めさせていただきまます。学部の所属は経営学部です。また、学内の仕事として、キャリアアセクター(旧:就職部)の部長も務めております。専門は、リーダーシップやコミュニケーションなど、組織の心理学もしくは人材のマネジメントに関わる事柄となります。テニスの経験はほとんど無く、もっぱらテレビで観戦するのみです。しかし、リーダーシップ研究も、自らリーダーシップを発揮していない人の方が、フォロワーの視点から優れた研究ができる、などと言われています。テニス部に対しても、素人なりの貢献ができれば、と考えております。

「会長挨拶」

S42年卒 出口 誠之

セントポールテニスクラブの会員の皆様に於かれましては、益々健康で御活躍のこととお喜び申し上げます。理事会の中に各委員会を設けて、三年が過ぎようとしております。この間、各委員会のOB・OGの皆様の精力的な協力により、SPTCの運営も、軌道に乗り始めました。

「SPTCノススメ」

S60年卒 藤原 誠之

日ごろはSPTCの活動にご協力いただき、ありがとうございます。今回はSPTC行事の魅力について、述べさせていただきます。まず、近寄り難かった大先輩とも気軽に話ができ、いろいろなアドバイスをいただけて大変参考になります。同期に近い方々も、学生時代とは全然違う付き合いができてとても楽しいし、若い後輩からは元気をもらえます。それからなんと現役学生は本当に一所懸命でかわいいです。リーグ戦などを見に行くと名前やプレーのくせなどを覚えると、応援がより楽しくなります。さらに納会や励会などで話をすると、リーグ戦などは応援というより当事者の気分で参加できます。これを読んでいる皆様は、立教大学テニス部を卒業した時点で、SPTCに参加する資格があります。近い年代で顔を出している人が必ずいますので、一年に一度でも是非参加してください。いろいろな流れを持っていると人生がより豊になるといえるような気がします。死ぬまで参加できるコミュニケーションは、ほとんど無いのではないかと感じています。仕事とも家族とも違う人生の大事ななもう一本の流れを、一緒に楽しみましょう。

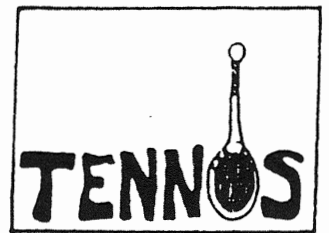
百周年準備委員会では、2016年の百周年に向け、OB・OGの協力により、現在のところ約九百万円の募金が集まっております。今年度はこの中から、百五十万円を現役に援助致しました。現役強化本部では、本部長を中心に、総監督、監督、プロコーチ、OB・OGのコーチ陣により、現役指導体制の確立を進めました。又、ART (ALL RIKKO TENNISプロジェクト)委員会を立ち上げ、付属校の協力を得て、底上げ強化をし、立教学院テニス部の一体化を図り、しはては大学テニス部の強化なるよう進めていく事を目的と致しました。現役強化委員会では、2008年度から始まりました、アスリート選抜入試制度による優秀選手選抜の選定、自由選抜入試の受験者に対する指導等を行い、一人でも多くの合

格者を出すべく頑張ってきました。現在のテニス部には、アスリート選抜入学者が、男子3名、女子5名。自由選抜入学者が、男子4名、女子6名が在籍しております。現役諸君には、このようなSPTCのバックアップ体制の中で、テニスの技術的な向上はもとより、学業を含め人間としてのレベルアップが出来ることを期待しております。本年度のリーグ戦に於いて、男女とも第一戦を落とした中で、厳しい試合を進め、男子チームは、3部2位で入替戦に臨み、3部残留という結果でした。又、女子チームは、3部1位で入替戦に臨み、見事に8年ぶりという、2部昇格を果たしました。来年度のリーグ戦までは、まだ時間がありますが、各個人が基礎体力を向上させ、技術力アップを目指し、一試合でも多く勝利し、それぞれ上位資格が取れるよう努力して行く事が重要だと思います。二三年度もOB・OGの皆様から年会費、一〇〇周年の募金、励会への寄付等、ご支援、ご協力を戴きましたこと心から感謝を申し上げますと共に、今後のテニス部の発展に引き続きご理解ご協力を賜ります事をお願い申し上げます。



去る六月十八日(土) セントポールテニスクラブ第十六回総会が、多数のOB・OGの方々のご出席を頂き池袋キャンパスの第一食堂にて開催されました。会計報告・予算・事業計画など慎重な審議が行なわれました。総会後は現役幹部を交え和やかな懇親会が開かれました。

第十六回総会 開かれる



平成23年度役員

Table of board members for 2023, including roles like 会長, 副会長, 顧問, 理事長, 副理事長, 理事, 監事 and names such as 出口誠之, 倉光哲, etc.

平成23年度事業計画書

(自平成23年4月1日～至平成24年3月31日)

Calendar of events for 2023, listing dates and activities like 第1回ARTプロジェクト委員会, 100周年座談会, etc.

平成22年度事業報告書

(自平成22年4月1日～至平成23年3月31日)

Calendar of events for 2022, listing dates and activities like 第1回理事会, 第1回コーチングスタッフ会議, etc.

平成22年度決算報告書

(自平成22年4月1日～至平成23年3月31日)

Income statement table for 2022 with columns for 科目, 予算額, 決算額, 摘要.

平成23年度会計予算

(自平成23年4月1日～至平成24年3月31日)

Income statement table for 2023 budget with columns for 科目, 予算額, 摘要.

Expenditure statement table for 2023 budget with columns for 科目, 予算額, 摘要.

Expenditure statement table for 2022 with columns for 科目, 予算額, 決算額, 摘要.

Balance sheet table for 2022 with columns for 科目, 金額, 摘要.

Table showing financial results from university grants for 2022, including 指導者報酬費, etc.

会則の変更

主な変更点

【現行】 第三条(役員) 1項 本会に次の役員を置く。理事20名以内(総務理事(正・副各1名)会計理事(正・副各1名)監督(男子・女子担当1名)を含む)

【変更後】 第三条(役員) 1項 本会に次の役員を置く。理事20名以内(総務理事(正・副各1名)会計理事(正・副各1名)監督(男子・女子担当10名)を含む)

OG年会費の改定

セントポールテニスクラブ 会則 第六条 2項 による年会費について。

【現行】 会費は年額、OB 1万円 ・ OG 7千円

【改定後】 会費は年額、1万円 とする。

【現行】 第四条(役員)の選任) 2項 新たな理事(含む監督)の選任は、前項でしめされた幹部役員候補者を選任する。

【変更後】 第四条(役員)の選任) 2項 新たな理事(含む監督)の選任は、前項でしめされた幹部役員候補者を選任する。

【削除】 第五条(機関) 5項 会員相互の円滑なる連絡・連携を目的とし、原則として卒業年度毎・男女別に年度幹事を置く。上記5項を削除する。

① 100周年準備委員会

Table of 100th anniversary preparation committee members, including 委員長, 副委員長, 委員 and names like 岸本駿二, etc.

② 現役強化本部

本部長兼テニス部総監督 中島幸彦 50 総監督補佐 上野城太郎 45

○指導部スタッフ

副本部長兼指導部長 体育会活動奨励金関係担当 鷺田典之 53 テニス部 監督(男子チーム・女子チーム) 山田昇 H2

○コーチングスタッフ

技術指導担当 プロコーチ 小野田倫久 H10 ヘッドコーチ(男子チーム) 技術指導 堀利之 H10 教育指導・就職指導兼技術指導 増田哲也 H10 主務指導 担当 大熊隆史 H10

ヘッドコーチ(女子チーム)兼インコンディショニング担当 井口郁司 H13 技術指導 担当 四家健一 H15

コーチングスタッフバックアップスタッフ統轄担当補佐兼技術指導 五味晃一 H19

技術指導 担当 戸澤夕葵 H20 主務指導 担当 塚田晶子 H21

○ARTプロジェクト委員会

委員長 増田哲也 H14 副委員長 関係校(女子)担当 山田彰彦 H12 副委員長 池袋校担当 柳内崇 H13 副委員長 新座校担当 村木祐介 H10 委員 池袋校担当 村木祐介 H10 委員 関係校(女子)担当 黒坂美也子 H15 委員 関係校(女子)担当 山下節子 H15 委員 広報担当 小田真義 H13 委員 広報担当 小足立充生 H14 員長 新座校担当 高橋泰洋 H19

③ 現役強化委員会

Table of current reinforcement committee members, including 委員長, 副委員長, 委員 and names like 原田豊, etc.

平成23年度リーグ戦結果

平成23年度関東大学テニスリーグ男子第三部結果表

Table with 10 columns: University, 東海大学, 立教大学, 東京農業大学, 関東学院大学, 千葉商業大学, 上智大学, 勝敗, ポイント, 順位. Rows show match results for each team.

入れ替え戦 立教大学 2-7 駒澤大学

平成23年度関東大学テニスリーグ女子第三部結果表

Table with 10 columns: University, 立教大学, 明治大学, 東洋学園大学, 上武大学, 東京農業大学, 上智大学, 勝敗, ポイント, 順位. Rows show match results for each team.

入れ替え戦 立教大学 5-2 東海大学

「入替戦・考」

総監督 中島 幸彦

必死で戦うリーグ戦で勝利の先にあるのが「上・入替戦」です。ここでは誰もが強く勝利を思い、昇格を願うわけですが勝負の世界はキビしく、これまでの一戦一戦にドラマがありいくつもの思い出が、積み重ねられていきます。

「未来への絆」

監督 山田 昇

まず初めに、大学関係者の方々、OB・OG、コーチングスタッフの皆様、付属校の顧問の先生方、ご父兄の方々、日頃の活動に多大なるご支援・ご声援を頂戴し、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

漫然と練習する学生に「諦め」を感じた時と同じように、しかし学生たちは、ここから奇跡を起こして、粘りチーム一丸となった全員で次々と強敵を破り、男女ともに二部との入替戦に駒を進めました。特に女子は四勝一敗で三校が並んだ一ポイント上回りの優勝、その勢いで二部昇格を果たしてしまいました。本当に素晴らしい戦い、粘りでした。

男子主将

山崎 紇史郎



前年度主将を務めさせていただきました、コミュニケーション福祉学部スポーツウエルネス学科4年の山崎紇史郎です。私はこの4年間で、3つの心を学び得ました。ひとつ目は「強い心」です。大きなプレッシャーと、そこで何としても結果を出さなければならぬという経験は、どんな困難にも立ち向かえる「強い心」を授けてくれました。

女子前主将

手塚 紇



昨年度主将を務めさせていただきました、経営学部国際経営学科4年の手塚紇です。私が一年の時から女子チームの目標であった「二部昇格」を学生生活最後の年に達成し、引退することができ、本当に幸せです。

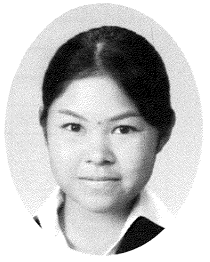
男子前副将

箭柏 喬彦



前年度主務を務めさせていただきました、経営学部国際経営学科4年の箭柏喬彦です。部活動での4年間、1番嬉しかったのは、勿論昨年度の昇格であり、悔しかったのは今年度の残留です。しかしそれ以上に私の中に残っているのは、主務として過ごした1年間です。最初頃は、「何故自分だけ」と良く思っていました。山田監督から「自己犠牲」の大切さを教えて頂いたから、私の中で変化がありました。自己犠牲とは、ただ単に自分が犠牲になっただけではなく、仕事を支えて下さったOB、OGの方々や家族、そして部員の為に、感謝をこめて行う事。私はそうとならざるを得ない状況になりました。そして月日が経つごとに、OB、OGの方々に対する、「感謝」の気持ちが大きくなりました。主務として、幹部側となり、部活を運営する側になり、OB、OGの方々がどれほど私達の為に動いて下さっているか、又、どれほど愛情を注いで下さっているかが分かり、支えられているという実感が湧きました。この当たり前にも思える事は、なかなか実感出来る事ではありません。来年年度からOB1年生へと変わりますが、今度からは引退がありません。私からはどんな形であれ、先輩達をサポートしていきたいと思っています。最後に、4年間の間、誠にありがとうございました。宜しくお願致します。

女子主務
高津 香和奈



昨年度、主務を務めさせて頂きました。経済学部会計ファイナンス学科四年の高津香和奈です。これまでを思い返してみると、不安と期待を抱え入部を決めた一年生からあつという間に引退を迎えました。四年間、時には辛い時もありましたが、常に傍にいてくれる同期や熱く応援してくださる先輩方、ご父兄の方々、可愛い後輩に支えられ最後までやり抜く事が出来ました。充実した四年間を送らせて頂き、本当に感謝致します。

女子副将
國嶋 ひとみ



昨年度、副将を務めさせて頂きました。コミュニケーション福祉学部福祉学科四年國嶋ひとみです。四年間、ずっと追い続けてきた「二部昇格」。最後のリーグ戦で、大好きな十六人の仲間と共にこの瞬間を迎えられたことを、心より嬉しく思っております。部員一人ひとりの個性、主体性を重んじながらも、チームとしての統合力を発揮できる素晴らしいチームであったと感じております。部員全員がお互いを尊重し合い、信じ合い、立教大学体育会テニス部に誇りを持ち、そして「昇格」の瞬間にこたわって戦ったからこそ、「昇格」の瞬間を勝ち得ることができました。これらのおかげで中島総監督、山田監督をはじめ、コーチの方々のお言葉であり、私達を支えて下さるOB・OGの皆様のおかげで温かかったです。私は、四年間、体育会テニス部の一員として過ごすことができたことを本当に幸せに感じております。選手としてチームに貢献することは叶いませんでしたが、テニスの技術はもとより、人間としての向上も学ぶことができました。常日頃から、現役をご指導下さっているOB・OGの皆様、四年間支えてくれた大好きな同期、私達についてくれたかわいい先輩達に感謝の気持ちでいっぱい입니다。本当にありがとうございます。

女子副将
浅野 亜由美



女子チーム副将を務めておりました。コミュニケーション福祉学部スポーツウエルネス学科四年の浅野亜由美です。今年のリーグ戦を最高の形で終え、また自身引退を迎えることができました。これまで嬉しく思っています。これまで三年間非常に悔しい思いをし、お世話になった先輩方と共に東海大学のコートで涙を流した悔しさが忘れられないまま、今年の入替戦を迎えました。最後のリーグ戦、昇格したいという気持ちと同時に、東海大学にだけは絶対に負けたくないという気持ちがありました。選手としてチームを引っ張ることができませんでした。一人ひとりがそれぞれの役割を果たしたことで、そしてOB・OGの皆様のご支援・ご声援を力に戦えたからこそ、二部優勝、二部昇格だと思っております。

新幹部紹介

男子主将
松沼 豊人



本年度主務を務めさせていただくことになりました。観光学部交流文化学科3年の松沼豊人です。9月に行われました、リーグ戦では本当に悔しい思いをしただけでなく、技術、そして自分たちの上を取り組む姿勢、テニスにさえさせられませんでした。この反省を自分だけでなく、部員全員が共有してこの一年間取り組んでいくことが私の役目だと考えております。そのためにも必要だと思っております。できれば二部昇格は見えてこないでしょう。これは九月のリーグ戦で感じた私の反省でもあります。チームの方針として一部への通過点としての二部昇格を目指し日々努力していく所存です。

女子主務
谷川 麻里絵



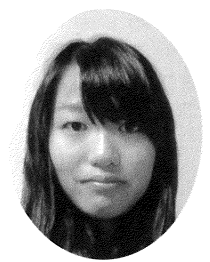
この度女子チームの主務を務めさせて頂きました。社会学部メディアア社会学科3年谷川麻里絵です。宜しくお願致します。女子チームは、今年のリーグ戦において8年ぶりの2部昇格を果たすことが出来ました。これは私たちが女子チームだけでなく監督、コーチの方々や協力して頂いているOB・OGの皆さま、男子チーム、立教大学体育会テニス部全員の力なくしては果たせなかつたと思っております。本当にありがとうございます。その伝統あるチームにおける主将として、その名に恥じぬようしっかりとリーダーシップを取1年間邁進して参りたいと思っております。皆さまに今まで以上に応援したい、サポートしたいと思っております。また、このような素晴らしいチームの一員であることは、私の誇りです。

男子主務
木田 耕平



本年度、主務を務めさせていただくことになりました。経済学部経済学科三年の木田耕平です。今年のリーグ戦は残留という結果に終わり、立教にはまだ足りないものが多いと実感しました。しかし、悔しい思いをすると同時に、立教のチーム力は確実に上がっていること、現役部員は本場に素晴らしい環境でテニスをできていることを改めて実感することができました。OB・OGの皆様は、お忙しい中毎試合駆けつけて下さり、入替戦では、立教中学高校の学生達、明治大学硬式庭球部の方々まで応援に来て下さいました。これ程多くの方々を支えられていくことに感謝の気持ちでいっぱい입니다。また、このような素晴らしいチームの一員であることは、私の誇りです。

女子主務
細田 有里



本年度、主務を務めさせて頂くことになりました。コミュニケーション福祉学部スポーツウエルネス学科三年、細田有里です。今年のリーグ戦では、「二部優勝」「二部昇格」という目標を達成することができました。この目標は、女子チーム十六人だけでは、達成することが難しかったと思います。男子チーム、監督やコーチの方々、お忙しい中応援に来て下さった大勢のOB・OGの皆様方の支えがあり達成できたものだと思います。私たちが一緒に戦って下さった皆様には心からお礼申し上げます。

男子副将
大竹 徹



本年度、副将を務めさせていただくことになりました。経済学部経済政策学科二年、大竹徹です。去年のリーグ戦では、ほぼダブルスだけの出場だったのですが、今年のリーグ戦では、単復出場するということもあり、自分が勝たなければならぬという強い思いを持って戦いました。今年練習やトレーニングが去年より非常に増え、くじけそうになったこともありましたが、今年のリーグ戦では10勝1敗という成績を収めることができました。この成績を収めることができたのは、信頼できる仲間、監督やコーチ、そしてOB・OGの方々を支えて下さったおかげだと思っております。今年のリーグ戦は残念ながら三部残留という結果で終わってしまいました。立教というチーム全体が、立教というチームとして戦うことができました。辛いリーグ戦の中で周りの皆様の声援がとてもしに力になりました。勝ちに勝つ執着心を持って戦うことが出来ました。本当に感謝の気持ちでいっぱい입니다。ありがとうございます。



男子副将
高野 順帆

本年度副将を務めさせていただきますことになりました。コミュニケーション福祉学部スポーツウエルネス学科二年の高野順帆です。今年のリーグ戦は初めて選手として出場することでも、とても貴重な経験をさせていただきました。私自身、一つの試合が終わる度に成長を実感し、その経験が自信になったと思います。そしてOB・OGの皆様方や保護者の方々、立教付属中学高校の皆さん、本当に大勢の人に応援していただいたことがこんなにも心強いとは思いませんでした。しかし、あと一歩及ばず負けてしまった試合もあり、とても満足いく結果ではありません。今、自分に何が足りないか、これから何をすべきかという課題を克服するとともに、副将としてリーグ戦で学んだことをチーム内で共有し、チーム全体を引っ張っていきけるような存在になりたいです。また、二人しかない三年生をサポートし、各学年をつなぐパイプ役も務めていきたいと思えます。私達二年生は部員が多く影響力がある学年だと考えておりますので、率先してこれからのチーム作りに貢献したいと思います。最後にくなりましたが、OB・OGの皆様にはいつもご支援いただき、とても感謝しております。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻の程どうぞ宜しくお願い致します。



女子副将
寺田 美邑

本年度、副将を務めさせていただきますことになりました。コミュニケーション福祉学部コミュニケーション政策学科二年、寺田美邑です。今年のリーグ戦では、たくさんのご声援ありがとうございました。監督、コーチ、OB・OGの皆様をはじめとする関係者の方々には、御礼申し上げます。昇格を目標に掲げ、二年で頑張りたいと思ってきました。この一年間、達成した瞬間、嬉しさで胸がいっぱいになりました。全てが報われた気持ちになりました。昨年度、新生女子チームでの練習がスタートし、震災が日本を襲い、白子合宿を中止せざるを得ない状況となってしまうという状況になりました。このような不安が頭をよぎりました。そんな中、四月から練習再開となり、試合までの時間も短縮される中、私達は技術だけでなく、チームとしても成長することができました。一人ひとりが意識を高め成長することができたのは、四年生の先輩方のご指導があったからです。リーグ戦を終え、立教大学のチーム力はどの大学よりも優れていたように感じます。それは結果が物語るように思います。今年のリーグ戦で感じた「一人でいるのではなく、チームで戦っている」ということを信じて、「これからの一年、対に誰にも負けたくない」という気持ちを持って、日々努力して参ります。今後ともご指導、ご鞭撻の程宜しくお願致します。



女子副将
吉田 惠美

本年度、副将を務めさせていただきますことになりました。法学部法学科二年、吉田惠美です。「三部優勝・二部昇格」を達成できた今年のリーグ戦において、私には何も恐ろしいものはありません。おかげで「立教が一番強い」と信じて疑わなかったです。自分のチームに対するプライドと誇りは全く揺らぐことはありませんでした。それは、心から信頼できる仲間、監督やコーチ、そして、OB・OGの方々がいっぱい支えて下さっていたからです。そこで、私は大きな愛を感じていました。私たちが応援して下さる全ての方々の想いを感じられたこと、私も熱い気持ちになりました。試合でのプレッシャーでさえ、楽しむことができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。今年のリーグ戦を通して改めて感じた「何事も恐れず信じる」ことの大切さ。これを忘れず、来年もまた昇格という喜びを仲間と共に味わうために精進します。これから副将を務めさせていただきます。今年引退を迎えられた先輩方がそうであったように、人の心を感じ、人のことを思い、人のために尽くすことをモットーにしたいと思えます。失敗を恐るやうなことなく自分らしくやっています。ご指導、ご鞭撻の程宜しくお願致します。



男子副将
篠田 翔平

本年度、副将を務めさせていただきます。経済学部経済学科二年篠田翔平です。今年度のリーグ戦では、私は出場することができず、サポートという立場で戦いました。入替戦に勝つことができなかったものの、最終的な結果として三部二位とすることができたのは、OB・OGの方々、また監督やコーチといった関係者の皆様からの熱いご声援が心に響いたからです。厚く御礼申し上げます。そして、何より四年生の方々のご指導のおかげです。この恩を結果でお返しするためにも、来年度のリーグ戦では私が選手となり、念願である二部昇格を果たす為、日々精進して参りたいと思っております。また、新四年生が二人しかおらず人数が少ないので、幹部として二人をしっかりとサポートし、人数の多い私達の代がこれからの立教大学体育会テニス部という組織を率先して引っ張っていき、強い意識の下、日々の練習に励んで参りたいと思っております。副将を務めさせていただきます。これから、副務の仕事をごなすだけでなく、自分から積極的に主務の仕事ができることを精一杯やしていきます。このような素晴らしい環境でテニスができるのは、OB・OGの皆様のおかげです。今後ともご指導、ご鞭撻の程宜しくお願致します。



女子副将
角田 芽優

本年度副将を務めさせていただきますことになりました。経営学部経営学科二年、角田芽優です。時間がたつのは早いもので、何もかもが手探りで過ごしてこの一年生が本当に昨日のこのようでした。そんな昨年のリーグ戦と今年のリーグ戦は見える景色が全く違いました。二年目にしてようやく周りを見渡すことが出来、リーグ戦の重みを感じ、一人一人の強い想いを心身ともに感じとれたのはもちろんのこと、OB・OGの皆様方の多大なご支援等、そういった皆さんの方々の想いを感じながら戦ったリーグ戦となり、念願である二部昇格を果したため、日々の練習を果たす為、日々精進して参りたいと思っております。また、新四年生が二人しかおらず人数が少ないので、幹部として二人をしっかりとサポートし、人数の多い私達の代がこれからの立教大学体育会テニス部という組織を率先して引っ張っていき、強い意識の下、日々の練習に励んで参りたいと思っております。副将を務めさせていただきます。これから、副務の仕事をごなすだけでなく、自分から積極的に主務の仕事ができることを精一杯やしていきます。このような素晴らしい環境でテニスができるのは、OB・OGの皆様のおかげです。今後ともご指導、ご鞭撻の程宜しくお願致します。



女子副将
濱田 美輝

観光学部交流文化学科二年濱田美輝です。今年度副将を務めさせていただきます。今年以上にチームのことを考え、主将・主務の補佐や後輩指導など、来年度の目標が達成できるように、より良いチーム作りを心掛けます。今年のリーグ戦では、去年の入れ替え戦にも届かなかった悔しい気持ち、昇格に期待してくださった多くの方々の声に込めた思い、昨年度初めに昇格を経験できました。このような経験をできたことを本当に光榮に思っております。それと共に、立教大学体育会テニス部に所属する全ての方々に心の底からお礼申し上げます。毎年ではあると思いますが、OB・OGの皆様方の存在の大きさを痛感します。感謝するだけではなく、その期待に応えるべく、今年度以上に自分自身も勝負の一年だと感じていきます。この一年どう過ごするかにより来年の結果が見えてくるので精一杯頑張ります。今年度のリーグでもそういったことがあれば、このポイントを取れば楽に勝てるという場面が多々ありました。難しいと思います。そのような場面でもしっかりとポイントを取れるように自分自身も昇格を味わえるよう努力していきますので今後とも宜しくお願い致します。

新入生紹介



1年 上野 大輔

私は、立教新座中学校、高校と約六年間テニスをしてきました。高校では、副将を務め、チームをまとめることの難しさや大切さを学びました。引退した後も、立教新座中学のコーチという立場で立教テニス部に関わってきました。そこで、立教というチームが好きで、テニスそのものも好きだと実感しました。そして、高校二年生の時に関東大会出場という機会を逃した悔しさもあり、立教大学体育会テニス部への入部を決意しました。初めてのリーグ戦というものを経験し、たくさんの貴重な経験をさせていただきました。また、チームで戦うということの大切さを改めて学びました。リーグを優勝した時の喜びは、OB・OGの方々は、はじめ、選手、サポートが一つにまとまっている立教だからと味わうことができたと思えます。リーグ戦では、審判やポーターを経験することで、来年こそ自分が出場するつもりが、自分が強く目標ができました。何事も限界を作らず、全力で取り組んでいきたいと思えます。このような素晴らしい環境でテニスができるのは、OB・OGの皆様のおかげです。今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻の程宜しくお願致します。

1年 鏡 健斗

埼玉県私立立教新座高校出身、経営学部国際経営学科一年の鏡健斗です。私は、中学校入学と同時にテニスを始めました。恵まれた環境、良い仲間、恵まれた先輩たち、私も主将を務めました。しかし、戦績として目立ったものを残せませんでした。自分のテニスに限界を感じ、二部に入るかどうかが悩みました。しかし、今までお世話になった方々のためにも、ここまで頑張ってきた自分のために、私のテニスはまだ終われないという思いから、この立教大学体育会テニス部に入部しました。初めてのリーグ戦を終えて、多くの貴重な経験をしました。一年生としての仕事をこなしながら、サポートに徹した今年のリーグ戦で、チームが一になったという達成感を実感しました。辛いことも多くありました。それと共に乗り越えたい同期や先輩方はかけがえのない仲間です。しかし私の中には、悔しさもあります。それは選手としてリーグ戦に出場できなかったことです。来年のリーグ戦で選手として出場し、それが私の目標です。今このリーグ戦で求められているのは勝利という結果であること強く感じました。そのために日々の練習に全力で取り組んで参りますので、今後ともご指導、ご支援の程宜しくお願致します。

1年 田口 陽平



埼玉県私立川越東高等学校出身、コミュニケーション政策学科、田口陽平です。私は入学して以来、立教大学体育会テニス部において成長させてくれる状況を経験しました。その中で、私が最も印象強く記憶しているのがリーグ戦です。私は、選手として出場することはできず、サポートの立場として戦いました。そこで、私はリーグ戦がどのようなものであるかということ、私たちが現役がどれほど多くのOB・OGの皆様方に支えられて活動できているのかということ、改めて知りました。リーグ戦では、選手のために、サポートが全力を尽くし、またそれに応えるために選手も全力を尽くすという関係になっていくと実感しました。また、入部以来、先輩方からOB・OGの皆様方からの支援なくして、私たちは成り立たないと実感してきましたが、私は初めてそのことを実感することができました。厳しいリーグ戦の中、多くのOB・OGの皆様方からの大きな声援が力になりました。本当にありがとうございます。

1年 横山 由騎



茨城県私立霞ヶ浦高等学校出身、経営学部経営学科一年の横山由騎です。私は、初めてのリーグ戦を通して学んだことがあります。それは、リーグ戦は出ている選手だけが戦っている訳ではないということ、全六試合を通して感じたことは、立教には強い団結力があるということ、選手は自分のことで精一杯になるのではなく、選手同士が励まし合い、サポートは選手が気持ちよくプレーができるように、またチーム全体を円滑にチームがスムーズな動きをできるようにサポートして、男子部は女子部を互いに切磋琢磨し合い、またOB・OGの皆様方は私達現役のために毎回応援に駆け付けてくださり、コーチ陣の方々も、身を粉にする気持ちでリーグ戦の一ヶ月間私達と共に過ごしてくださいました。これ程多くの人が自分達のチームにコミットしていただいていることに誇りを感じています。これから四年間、立教という看板を背負っているという自覚と責任を持ちながら生活していきたいと思えます。最後にありますが、日々私達現役のために指導、ご声援を送ってください。誠にありがとうございます。今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお祈り致します。

1年 吉田 圭佑



東京都私立立教池袋高等学校出身、現代心理学部心理学科、吉田圭佑です。私は、立教大学体育会テニス部で多くのことを経験することができました。その中で最も印象に残っているのがリーグ戦でした。リーグ戦のある一カ月のために二日間チームが一つになって二部昇格という同じ目標に向かい、先輩後輩関係なくどれか一つでも欠けてはいけません。この期間の団結力を知りました。私は入部して二カ月程で腰を痛め、リーグ戦まで先輩や同期が必死に努力しているのをサポートするのしか出来ず、悔しい思いをしました。ケガをしてからこそ出て来るサポートをして他の人とは違う形でしかチームに貢献することしかできませんでした。来年度は、二部昇格をサポートだけでなく選手として貢献できようと思います。大学生として体育会テニス部に選ばれる四年間という短い時間だと思えます。その短い時間の中で、精一杯チームに貢献し、後悔のないように過ごしていきたいと思えます。今回のリーグ戦を経て、立教大学のOB・OGの皆様方が他のどの大学よりも現役を支え、愛情を注いで頂いていることを感じる事ができました。誠にありがとうございます。皆様方のご期待に応えられるよう努力してまいります。今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお祈り致します。

1年 大岩 紗織



東京都私立富士見丘高等学校出身、コミュニケーション学部スポーツウエルネス学科、一年大岩紗織です。私は、立教大学体育会テニス部で多くのことを経験することができました。その中で最も印象に残っているのがリーグ戦でした。リーグ戦のある一カ月のために二日間チームが一つになって二部昇格という同じ目標に向かい、先輩後輩関係なくどれか一つでも欠けてはいけません。この期間の団結力を知りました。私は入部して二カ月程で腰を痛め、リーグ戦まで先輩や同期が必死に努力しているのをサポートするのしか出来ず、悔しい思いをしました。ケガをしてからこそ出て来るサポートをして他の人とは違う形でしかチームに貢献することしかできませんでした。来年度は、二部昇格をサポートだけでなく選手として貢献できようと思います。大学生として体育会テニス部に選ばれる四年間という短い時間だと思えます。その短い時間の中で、精一杯チームに貢献し、後悔のないように過ごしていきたいと思えます。今回のリーグ戦を経て、立教大学のOB・OGの皆様方が他のどの大学よりも現役を支え、愛情を注いで頂いていることを感じる事ができました。誠にありがとうございます。皆様方のご期待に応えられるよう努力してまいります。今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお祈り致します。

1年 金子 真奈



埼玉県立伊奈学園総合高等学校出身、コミュニケーション学部スポーツウエルネス学科、金子真奈です。私は、立教大学体育会テニス部で多くのことを経験することができました。その中で最も印象に残っているのがリーグ戦でした。リーグ戦のある一カ月のために二日間チームが一つになって二部昇格という同じ目標に向かい、先輩後輩関係なくどれか一つでも欠けてはいけません。この期間の団結力を知りました。私は入部して二カ月程で腰を痛め、リーグ戦まで先輩や同期が必死に努力しているのをサポートするのしか出来ず、悔しい思いをしました。ケガをしてからこそ出て来るサポートをして他の人とは違う形でしかチームに貢献することしかできませんでした。来年度は、二部昇格をサポートだけでなく選手として貢献できようと思います。大学生として体育会テニス部に選ばれる四年間という短い時間だと思えます。その短い時間の中で、精一杯チームに貢献し、後悔のないように過ごしていきたいと思えます。今回のリーグ戦を経て、立教大学のOB・OGの皆様方が他のどの大学よりも現役を支え、愛情を注いで頂いていることを感じる事ができました。誠にありがとうございます。皆様方のご期待に応えられるよう努力してまいります。今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお祈り致します。

1年 佐藤 三華



千葉県私立秀明八千代高等学校出身、観光学部観光学科一年佐藤三華です。私は、立教大学体育会テニス部で多くのことを経験することができました。その中で最も印象に残っているのがリーグ戦でした。リーグ戦のある一カ月のために二日間チームが一つになって二部昇格という同じ目標に向かい、先輩後輩関係なくどれか一つでも欠けてはいけません。この期間の団結力を知りました。私は入部して二カ月程で腰を痛め、リーグ戦まで先輩や同期が必死に努力しているのをサポートするのしか出来ず、悔しい思いをしました。ケガをしてからこそ出て来るサポートをして他の人とは違う形でしかチームに貢献することしかできませんでした。来年度は、二部昇格をサポートだけでなく選手として貢献できようと思います。大学生として体育会テニス部に選ばれる四年間という短い時間だと思えます。その短い時間の中で、精一杯チームに貢献し、後悔のないように過ごしていきたいと思えます。今回のリーグ戦を経て、立教大学のOB・OGの皆様方が他のどの大学よりも現役を支え、愛情を注いで頂いていることを感じる事ができました。誠にありがとうございます。皆様方のご期待に応えられるよう努力してまいります。今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお祈り致します。

1年 的場 蓮



広島県私立安田女子高等学校出身、経営学部経営学科、的場蓮です。私は、立教大学体育会テニス部で多くのことを経験することができました。その中で最も印象に残っているのがリーグ戦でした。リーグ戦のある一カ月のために二日間チームが一つになって二部昇格という同じ目標に向かい、先輩後輩関係なくどれか一つでも欠けてはいけません。この期間の団結力を知りました。私は入部して二カ月程で腰を痛め、リーグ戦まで先輩や同期が必死に努力しているのをサポートするのしか出来ず、悔しい思いをしました。ケガをしてからこそ出て来るサポートをして他の人とは違う形でしかチームに貢献することしかできませんでした。来年度は、二部昇格をサポートだけでなく選手として貢献できようと思います。大学生として体育会テニス部に選ばれる四年間という短い時間だと思えます。その短い時間の中で、精一杯チームに貢献し、後悔のないように過ごしていきたいと思えます。今回のリーグ戦を経て、立教大学のOB・OGの皆様方が他のどの大学よりも現役を支え、愛情を注いで頂いていることを感じる事ができました。誠にありがとうございます。皆様方のご期待に応えられるよう努力してまいります。今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお祈り致します。

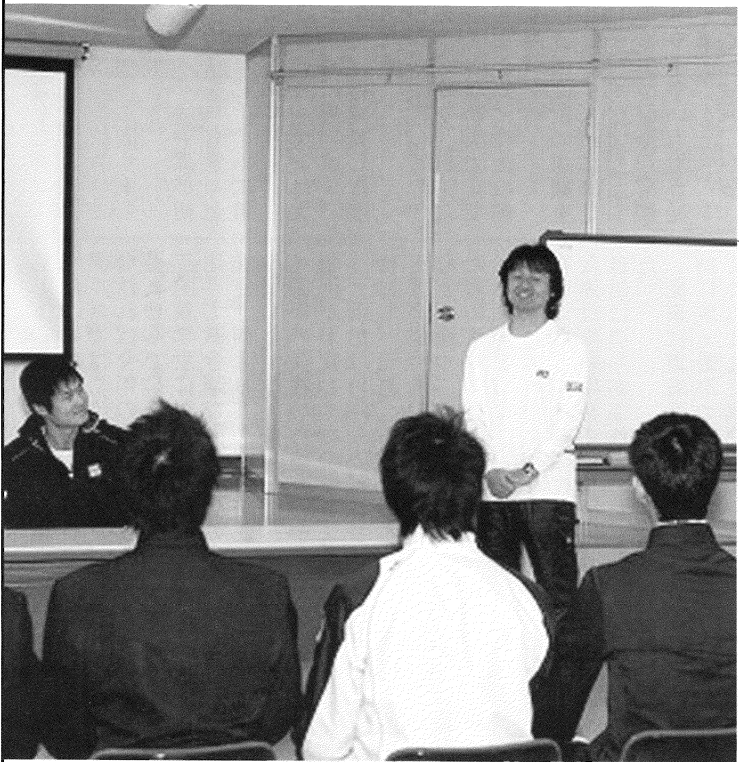
「一年間を振り返り」

コーチ 小野田倫久プロ

立教大学テニス部、総監督をはじめとする関係各位の皆様には、誠に御礼申し上げます。これら日頃の皆様のご尽力のおかげで生徒達は今年度のリーグ戦も頑張ることが出来ました。去年の男子に続き、今年も女子が昇格致し、今後更なる接戦が予想されます。皆様のお力を更に頂戴し素晴らしいテニス部を作りたいと思います。さて、男子部を振り返りたいと思います。今年、3部の戦いになる男子部には、7月から2ヶ月で180キロを超えるラウンドをこなしました。去年試合中に足を痙攣したという同じ目標に向かい、それぞれが一生懸命にリーグ戦に挑んでみて、団結力の良さが分かるようになってきました。自然相手レベルが上がります。せめて体力だけには自信をつけさせたいと思います。初戦で2部から落ちてきた東海大学に実力の差を見せつけられ厳しいスタートになりました。戦術、スピード、ショットの力強さ、どれをとっても実力は東海大学の方が上で、初戦ということもあり少し緊張して消極的な場面もあり、初戦が最も大事と分かっていた私達は、この東海戦にビビクを持っていきかけたのですが、あまり良い出来ではありませんでした。ミスマッチングで弱気になったことを指摘しました。今思えばこの初戦がきっかけで残りの試合が勝つたのかもかもしれません。ダブルスでは、初めてリーグ戦出場の高野、中澤がどこのポイントになるか一つ一つのポイントに繋がっていき、連戦を戦ううちに、コンビネーションも良くなり勝負強さも出てきたように思います。佐久

「国枝慎吾プロ 練習見学会」

十一月十七日、車いすテニスプレーヤーであり、北京パラリンピック金メダリストの国枝慎吾プロの練習を見学させていただきました。山田監督が明治大学のOBで、現在「吉田記念テニス研修センター」でコーチを務める丸山弘道氏へ依頼したことで、この見学会が実現しました。学生達は、初めて見る車いすテニスの過酷さに驚きながらも熱心に見学していました。練習後の質疑応答の時間では積極的に質問を行い、国枝プロ、丸山コーチ両氏より「学生達の前向きな姿勢に感激しました。」との言葉をいただきました。学生達も得るものが大きく、とても良い刺激を受けたようです。国枝プロ、そしてこの機会を作っていただいた丸山コーチ、山田監督にここで感謝の意を述べさせていただきます。

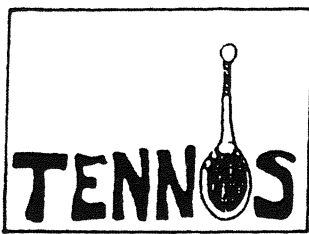


東日本大震災への 募金活動

三月三十日、十五時、十七時にかけて池袋駅の南口にて東日本大震災への義援金の募金活動を通じた被災地への支援活動を行いました。

今回は、二年の坂本を中心に男女全体でミーティングを行い、立教大学が豊島区十五団体と協賛して行っている義援金活動に参加することに決定致しました。部員は、「立教大学体育会テニス部です。現在東日本大震災への義援金活動を行っております。皆様ご協力お願い致します。」と大きな声で声掛けを行い、多くの人の協力を得ることができました。今回のボランティア活動で集められた義援金は日本赤十字社を通して宮城県へ送られました。短い時間でしたが、募金活動中に多くの人たちから温かいお言葉を頂き、「思いやり」「支え合い」の精神を感じることができました。

私たちの活動は小さなものでしたが、少しでも被災地の人々の支援に役立つことができればと思います。



三月三十日、十五時、十七時にかけて池袋駅の南口にて東日本大震災への義援金の募金活動を通じた被災地への支援活動を行いました。

今回は、二年の坂本を中心に男女全体でミーティングを行い、立教大学が豊島区十五団体と協賛して行っている義援金活動に参加することに決定致しました。部員は、「立教大学体育会テニス部です。現在東日本大震災への義援金活動を行っております。皆様ご協力お願い致します。」と大きな声で声掛けを行い、多くの人の協力を得ることができました。今回のボランティア活動で集められた義援金は日本赤十字社を通して宮城県へ送られました。短い時間でしたが、募金活動中に多くの人たちから温かいお言葉を頂き、「思いやり」「支え合い」の精神を感じることができました。

私たちの活動は小さなものでしたが、少しでも被災地の人々の支援に役立つことができればと思います。

計報

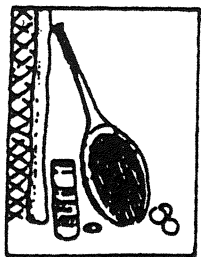
織田久子先輩 (旧姓松本)

(昭和六十年卒)

平成二十三年七月十五日

橋本幸信先輩 (昭和二十七年卒)

平成二十三年九月十五日



平成23年度年会費ありがとうございました。

卒年	OB氏名 (敬称略)	卒年	OB氏名 (敬称略)
39	高橋通男	61	大園史直
40	新田誠	62	山田彰彦
41	川口隆史	63	折田浩介
42	原正明	64	折田浩介
43	武松志幸	65	折田浩介
44	高野誠	66	折田浩介
45	宇野治	67	折田浩介
46	笠原賢次郎	68	折田浩介
47	加藤正一	69	折田浩介
48	内原誠	70	折田浩介
49	浅見啓	71	折田浩介
50	立野公一	72	折田浩介
51	鈴木一広	73	折田浩介
52	鈴木一広	74	折田浩介
53	山下昌夫	75	折田浩介
54	加倉井理	76	折田浩介
55	松村隆司	77	折田浩介
56	山口幸夫	78	折田浩介
57	伊藤久幸	79	折田浩介
58	佐野文彦	80	折田浩介
59	佐野文彦	81	折田浩介
60	佐野文彦	82	折田浩介

平成23年11月10日現在

卒年	OG氏名 (敬称略)	卒年	OG氏名 (敬称略)
39	西山俊子	61	西山俊子
40	川上浩子	62	川上浩子
41	折田浩介	63	折田浩介
42	折田浩介	64	折田浩介
43	折田浩介	65	折田浩介
44	折田浩介	66	折田浩介
45	折田浩介	67	折田浩介
46	折田浩介	68	折田浩介
47	折田浩介	69	折田浩介
48	折田浩介	70	折田浩介
49	折田浩介	71	折田浩介
50	折田浩介	72	折田浩介
51	折田浩介	73	折田浩介
52	折田浩介	74	折田浩介
53	折田浩介	75	折田浩介
54	折田浩介	76	折田浩介
55	折田浩介	77	折田浩介
56	折田浩介	78	折田浩介
57	折田浩介	79	折田浩介
58	折田浩介	80	折田浩介
59	折田浩介	81	折田浩介
60	折田浩介	82	折田浩介

創部100周年記念事業募金にご協力頂きありがとうございました。

卒年	OB氏名 (敬称略)	卒年	OB氏名 (敬称略)
S18	岡野 利壽	S49	浅見 啓
S25	山本 照康	S50	梅田 大
S26	平山 照康	S51	鈴木 幸
S27	岸本 駿二	S52	鈴木 幸
S30	阿部 正吉	S53	原田 隆
S31	小野 真章	S54	原田 隆
S32	宮原 武	S55	早川 隆
S33	藤林 伸介	S56	早川 隆
S34	小笠原 正直	S57	早川 隆
S35	小笠原 正直	S58	早川 隆
S36	小笠原 正直	S59	早川 隆
S37	小笠原 正直	S60	早川 隆
S38	小笠原 正直	S61	早川 隆
S39	小笠原 正直	S62	早川 隆
S40	小笠原 正直	S63	早川 隆
S41	小笠原 正直	S64	早川 隆
S42	小笠原 正直	S65	早川 隆
S43	小笠原 正直	S66	早川 隆
S44	小笠原 正直	S67	早川 隆
S45	小笠原 正直	S68	早川 隆
S46	小笠原 正直	S69	早川 隆
S47	小笠原 正直	S70	早川 隆
S48	小笠原 正直	S71	早川 隆

平成23年11月現在

卒年	OG氏名 (敬称略)	卒年	OG氏名 (敬称略)
S36	八木下 紀子	H1	中島 敏正
S37	松平 浩子	H2	中島 敏正
S38	川上 浩子	H3	中島 敏正
S39	松田 浩子	H4	中島 敏正
S40	松田 浩子	H5	中島 敏正
S41	松田 浩子	H6	中島 敏正
S42	松田 浩子	H7	中島 敏正
S43	松田 浩子	H8	中島 敏正
S44	松田 浩子	H9	中島 敏正
S45	松田 浩子	H10	中島 敏正
S46	松田 浩子	H11	中島 敏正
S47	松田 浩子	H12	中島 敏正
S48	松田 浩子	H13	中島 敏正
S49	松田 浩子	H14	中島 敏正
S50	松田 浩子	H15	中島 敏正
S51	松田 浩子	H16	中島 敏正
S52	松田 浩子	H17	中島 敏正
S53	松田 浩子	H18	中島 敏正
S54	松田 浩子	H19	中島 敏正
S55	松田 浩子	H20	中島 敏正
S56	松田 浩子	H21	中島 敏正
S57	松田 浩子	H22	中島 敏正
S58	松田 浩子	H23	中島 敏正
S59	松田 浩子	H24	中島 敏正
S60	松田 浩子	H25	中島 敏正
S61	松田 浩子	H26	中島 敏正
S62	松田 浩子	H27	中島 敏正
S63	松田 浩子	H28	中島 敏正
S64	松田 浩子	H29	中島 敏正
S65	松田 浩子	H30	中島 敏正
S66	松田 浩子	H31	中島 敏正
S67	松田 浩子	H32	中島 敏正
S68	松田 浩子	H33	中島 敏正
S69	松田 浩子	H34	中島 敏正
S70	松田 浩子	H35	中島 敏正
S71	松田 浩子	H36	中島 敏正
S72	松田 浩子	H37	中島 敏正
S73	松田 浩子	H38	中島 敏正
S74	松田 浩子	H39	中島 敏正
S75	松田 浩子	H40	中島 敏正
S76	松田 浩子	H41	中島 敏正
S77	松田 浩子	H42	中島 敏正
S78	松田 浩子	H43	中島 敏正
S79	松田 浩子	H44	中島 敏正
S80	松田 浩子	H45	中島 敏正
S81	松田 浩子	H46	中島 敏正
S82	松田 浩子	H47	中島 敏正
S83	松田 浩子	H48	中島 敏正
S84	松田 浩子	H49	中島 敏正
S85	松田 浩子	H50	中島 敏正
S86	松田 浩子	H51	中島 敏正
S87	松田 浩子	H52	中島 敏正
S88	松田 浩子	H53	中島 敏正
S89	松田 浩子	H54	中島 敏正
S90	松田 浩子	H55	中島 敏正
S91	松田 浩子	H56	中島 敏正
S92	松田 浩子	H57	中島 敏正
S93	松田 浩子	H58	中島 敏正
S94	松田 浩子	H59	中島 敏正
S95	松田 浩子	H60	中島 敏正
S96	松田 浩子	H61	中島 敏正
S97	松田 浩子	H62	中島 敏正
S98	松田 浩子	H63	中島 敏正
S99	松田 浩子	H64	中島 敏正
S100	松田 浩子	H65	中島 敏正



平成23年11月までの募金額は 8,853,801円となりました。
 5年後の2016年に創部100周年を迎えます。募金目標額は1,000万円です。今後とも募金事業にご協力下さい。
 100周年記念事業募金の口座案内 みずほ銀行 池袋西口支店 (普通) 1102894 立教テニス部100周年